

令和元年度昭島市障害者地域支援協議会（専門部会）の取組目標について

専門部会名称	こども支援部会			部会 委員数	10人			
部会目標	障害のある子ども達とその保護者への支援							
部会長 副部会長	部会長名	五十嵐 美智子						
	副部会長名	瀬戸本 むつみ						
主な部会 構成員	在宅福祉サービス事業所職員、スクールソーシャルワーカー、社会福祉協議会職員、サポートスクール職員、保護者、児童発達支援事業所職員							
令和元年度 取組目標	障害のある子ども達と家族のニーズに寄り添い、人権が尊重され、安心安全な生活の中で、もてる可能性を十分に伸ばすことのできる支援の在り方を考える。							
令和元年度取 組目標の達成 に向けた方法 や活動内容等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学習会の実施（障害児の性について、成年後見制度について） 2. 児童発達支援センターの見学及び意見交換 3. 放課後等デイサービスのそれぞれの特色を見る見学会 4. 教育福祉総合センターの進捗状況を知る。 5. その他 							
開催日程 ・内容	4月	・今年度の活動方針について ・放デイについて話を聞く会	10月	・教育福祉総合センターについての話を聞く				
	5月	・今年度の活動内容についての 詳細及び日程調整	11月	・成年後見制度について学ぶ				
	6月	・児童発達支援センターの見学	12月	・全体会				
	7月	・全体会	1月	・障害児の性についての学習会 の実施				
	8月		2月					
	9月	・放課後等デイサービス見学	3月	・今年度の振り返り及び来年度 の取り組みについて				
全体会での 協議予定事項				協議 予定時期	年 月頃			
備 考								

令和元年度昭島市障害者地域支援協議会（専門部会）の取組目標について

専門部会名称	就労支援部会			部会 委員数	15人				
部会目標	障害のあるすべての人の就労ニーズに寄り添い、その人らしい就労生活の実現のためにライフステージに沿ったトータル的な就労支援の充実を図ることを目的とする。								
部会長 副部会長	部会長名	未定							
	副部会長名	山崎恵（就労支援センタークジラ）							
主な部会 構成員	市内障害福祉事業所職員、医療関係者、特別支援学校教諭、特例子会社会社社員、ハローワーク、職業センター等								
令和元年度 取組目標	一度基本に立ち返り、市内の障害福祉事業所で話し合いを持ち、現在抱えている課題や、就労支援部会のあり方について整理をする。市役所実習、教育福祉総合センターでの雇用・受注に関して継続して話をしていく。								
令和元年度取 組目標の達成 に向けた方法 や活動内容等	取組目標に示した、市内障害福祉事業所での話し合いから具体的な重点課題や、解決方法を考えていく。年度の開催日程・内容も同様とする。								
開催日程 ・内容	4月	H30年度活動まとめ、今年度準備	10月	地域支援協議会					
	5月	市役所実習打合せ	11月	地域支援協議会と自立支援推進協議会との懇談会					
	6月	地域支援協議会	12月	地域支援協議会					
	7月	市役所職場体験実習支援	1月						
	8月		2月	地域支援協議会					
	9月		3月						
全体会での 協議予定事項	現在のところなし			協議 予定期	年 月頃				
備 考									

令和元年度昭島市障害者地域支援協議会（専門部会）の取組目標について

専門部会名称	当事者部会			部会 委員数	8人				
部会目標	障害者の社会完全参加と差別のない社会をめざす								
部会長 副部会長	部会長名	三原恭明（昭島市聴覚障害者協会）							
	副部会長名	宮崎明美（支援を必要とする子の親の会）							
主な部会 構成員	深井葉子（昭島市身体障害者福祉協会） 大野亘（きさらぎの会） 横山貴代（肢体不自由児の親の会） 西川澄（視覚障害者協会） 出口泰子（肢体不自由児の親の会） 吉澤孝行（CIL昭島）								
令和元年度 取組目標	1. 障害者が暮らしやすい昭島をめざし、障害者差別解消を推進するとともに障害者差別解消条例制定を求めていく。 2. 全障害当事者が参画できる企画および環境作りをする。 3. 障害者の視点による権利および権利擁護の意識を高める。 4. 障害者の日常生活の質向上（QOL）を図る。 5. 第5期障害福祉計画に策定された地域生活支援拠点事業等各種障害者福祉の履行を求める。 6. 障害者・健常者相互の理解を深めるために必要なことを模索し実行する。								
令和元年度取 組目標の達成 に向けた方法 や活動内容等	1. 障害者の生活の質向上（QOL）を図るために必要な活動を行なう。 2. 障害者同士の理解と意思疎通を深め、全障害者が参画できる部会をめざす。 3. 障害者の視点から権利と権利擁護についての学習を行なう。 4. 障害者・健常者相互に理解を深めるための活動を行なう。								
開催日程 ・内容	4月	定例会議	10月	定例会議					
	5月	定例会議	11月	定例会議					
	6月	定例会議	12月	定例会議					
	7月	定例会議	1月	定例会議					
	8月	定例会議	2月	定例会議					
	9月	定例会議	3月	定例会議					
全体会での 協議予定事項				協議 予定期	年 月頃				
備考	定例会議内容：地域課題協議、障害者差別・合理的配慮の事例検討、取り組み目標達成に向けての協議等。原則は毎月開催。 定例会議のほかに、現時点では日程未定ですが、障害者のつどい、市長懇談会、障害福祉課懇談会、学習会を企画し、実践していく。								

令和元年度昭島市障害者地域支援協議会（専門部会）の取組目標について

専門部会名称	相談支援部会			部会 委員数	16人				
部会目標	部会で抽出した課題の解決に向け、具体策を他専門部会と連携しプロジェクトで取り組む。								
部会長 副部会長	部会長名	渡辺 オリえ							
	副部会長名	太田 紋何							
主な部会 構成員	昭島市障害福祉課、相談支援事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会、当事者相談員、たかつきクリニック								
令和元年度 取組目標	①地域課題の解決の具体策についての検討 ②災害時の安否確認システムの構築 ③基幹相談支援センター、地域生活支援拠点についての動向の確認と必要な機能の検討								
令和元年度取 組目標の達成 に向けた方法 や活動内容等	① 事例検討会を開催し地域の課題を抽出、整理を行う。 ② 相談支援部会のメンバーが各プロジェクトに参加し情報共有を行う。								
開催日程 ・内容	4月		10月	相談支援部会③ 事例検討・地域課題の検討					
	5月		11月						
	6月	相談支援部会① 今年度の部会の進め方の検討	12月	相談支援部会④ 事例検討・地域課題の検討					
	7月		1月						
	8月	相談支援部会② 事例検討・地域課題の検討	2月	相談支援部会⑤ 事例検討・地域課題の検討					
	9月		3月	相談支援部会⑥ 今年度部会の総まとめ					
全体会での 協議予定事項				協議 予定期	年 月頃				
備 考	・定例会…偶数月に開催。事例検討と地域課題の具体化などの議論を行う								

令和元年度昭島市障害者地域支援協議会（専門部会）の取組目標について

専門部会名称	自立生活支援部会			部会 委員数	16人				
部会目標	障害のあるすべての人のニーズに寄り添って、その人らしい地域生活が実現できるように、ライフステージに沿ってトータル的に生活支援の充実を図ることを目的とする。								
部会長 副部会長	部会長名	加藤 治男（社会福祉法人滝乃川学園グループホームベアの家）							
	副部会長名	白石 良（社会福祉法人あすはの会 みしょう）							
主な部会 構成員	ホームヘルパー・介護支援専門員・生活介護事業所支援員・グループホーム世話人・短期入所事業所支援員・医療相談員・包括支援センター相談員・昭島市社会福祉協議会職員・地域活動支援センター相談員・昭島市障害者相談支援センター相談員・特別支援学校教諭								
令和元年度 取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーの人材確保・昭島市移動支援事業の報酬について ・新たな地域課題を抽出し、地域課題解決プロジェクトと連携し検討していく 								
令和元年度取 組目標の達成 に向けた方法 や活動内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会設置の各プロジェクトの活動に参加していく ・地域のヘルパー事業所に対して、ヒアリングやアンケート用紙を活用して、具体的な現状の情報を集める（適宜、ヘルパーチーム会議開催） ・日中活動における地域課題を抽出・整理するチームを部会内で設置する 								
開催日程 ・内容	4月		10月						
	5月	第1回自立生活支援部会 (今年度の取組検討・情報共有)	11月	第3回自立生活支援部会 (各PT・チームの報告・検討)					
	6月		12月						
	7月		1月						
	8月		2月	第4回自立生活支援部会 (各PT・チームの報告・検討)					
	9月	第2回自立生活支援部会 (各PT・チームの報告・検討)	3月						
全体会での 協議予定事項				協議 予定期	年 月頃				
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・課題対策について、ヘルパーチーム・日中活動チームに分かれ、活動していく ・定例会にて情報交換・現課題の精査・新たな課題の抽出を行っていく 								

令和元年度昭島市障害者地域支援協議会（専門部会）の取組目標について

専門部会名称	防災部会		部会委員数	14人			
部会目標	昭島市から死者を出さない						
部会長 副部会長	部会長名	吉澤 孝行(自立生活センター・昭島)					
	副部会長名	西川 澄(昭島市視覚障害者協会)					
主な部会構成員	昭島市内当事者・家族、相談事業所、昭島消防署、昭島市防災課・障害福祉課等						
令和元年度取組目標	昭島市から死者を出さない						
令和元年度取組目標の達成に向けた方法や活動内容等	①総合防災訓練の参加 8月25日拝島第三小学校 要支援者用物資の展示 ②学校避難所運営委員会当事者・家族委員との懇談会 ③要支援者全体計画・個別計画について ④福祉避難所(あいぽっく)の位置づけ・学校避難所との関連 ⑤高齢者福祉センター・会館・老人ホーム等の運用について						
開催日程・内容	4月	1. 年間計画作成 2. 要支援者名簿の取りまとめについて 3. 学校避難所運営委員会当事者・家族委員の名簿の確認					
	6月	1. 総合防災訓練について 要支援者用品の展示 障害者の参加の方法 2. 防災備蓄物資について 3. 要支援者全体計画・個別計画について 4. 学校避難所運営委員会当事者・家族委員との懇談会準備					
	7月	学校避難所運営委員会当事者・家族委員との懇談会					
	8月	19日 総合防災訓練の確認 25日 総合防災訓練参加と評価					
	10月	全体会議（中間確認） 1. 福祉避難所(あいぽっく)、高齢者福祉センター・会館・老人ホーム等の位置づけについて					
	12月	1. 学校避難所の好事例について 2. 要支援者全体計画・個別計画について					
	2月	年間の振り返り					
全体会での協議予定事項			協議予定期	年 月頃			
備考	残された課題 ①要支援者名簿と要支援者全体計画・個別支援計画の作成 ②自治会・民生委員との連携 ③速やかな、みなし仮設住宅への移行について ④集団生活に不向きな方への配慮 ⑤在宅避難者への施策 ⑥備蓄品の適正な保管場所への変更について						